

日本司法支援センター

令和8年4月1日現在

現 任 者						就 任 者			任命権者	発令日	
役 職	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 職	氏 名	年齢			前 職
理事長	丸島 俊介	74	R4.4.1	4年	R8.3.31	弁護士 日本司法支援センター 理事	白石 史子	67	札幌高等裁判所長官	法務大臣	R8.4.1

理事長としての任命理由

日本司法支援センター（以下「支援センター」という。）は、平成18年の設立以来、20年にわたり、司法を国民に身近で利用しやすいものとするため、民事法律扶助業務、国選弁護等関連業務及び司法過疎対策業務等、国民に対する法的支援の中心的役割を果たしてきた。

社会経済情勢の変化の中で、高齢者、障害者、外国人及び被災者など社会的に弱い立場にある方々に対する法的支援の必要性が、一層高まっていることに鑑みれば、支援センター理事長は、支援センターが多様化する法的ニーズに即応できるよう、現下の課題を的確に把握し、日本弁護士連合会等の関係機関・団体と一層強固な連携・協力関係を構築する必要がある。

白石史子氏は、長年にわたる裁判官としての経験から、支援センターの業務である民事法律扶助制度、国選弁護制度等を深く理解している上、支援センターの草創期において内閣官房内閣審議官（司法制度改革推進室長）として勤務し、司法制度改革の理念はもちろんのこと、総合法律支援法や国民の司法アクセスに関する諸課題等に精通している。また、白石氏は、札幌高等裁判所長官等の要職を歴任し、組織運営について豊富な経験を有するとともに、関係機関との連携・協力を行っており、支援センター業務において不可欠となる日本弁護士連合会等の関係機関・団体との連携・協力の維持・発展が期待できる。

このように、白石氏は支援センターの理事長として最も適任の人材である上、白石氏を理事長の候補者とするについて法務大臣から意見を求められた外部有識者3名も白石氏が理事長に適任である旨の意見を述べていること等にも鑑み、白石氏を理事長に任命したものである。